

暮らしてお金のいろは

第6回

Q

最近、取引のある銀行員から「景気も回復傾向ですから、投資信託などで運用しませんか」と勧誘されました。運用はしたことがあります。老後を考えて貯蓄だけでなく運用もした方が良いでしょうか？

(50代 男性)

A

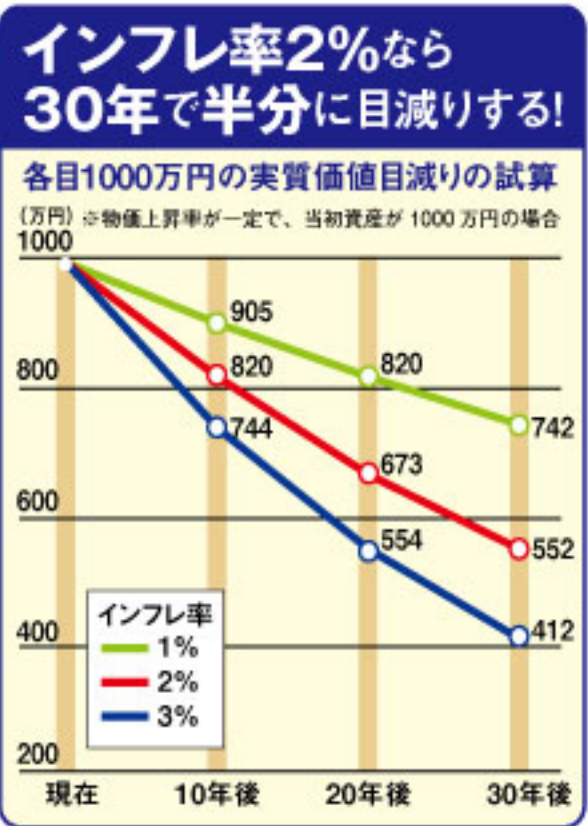
老後に備えて貯蓄するのはとても重要です。しかし、先々の物価上昇に備えるには、貯蓄だけでは対応が難しいケースもあります。まずは目的をしっかりと持ち、自分に合った方法で貯蓄したり運用したりするということをお勧めします。

今年はアベノミクス効果などで、「株価上昇」「円安」が進んでいますが。しかし「運用」に資産を預けるには、いくつか注意が必要です。

本来、計画的に資金を貯めていけば安定した老後資金を確保できるのに、▽流れに任せて安易に投資を始めてしまう▽「高利回り」「毎月分配」などのフレーズで判断してしまう▽銀行員や証券会社に勧められるままに始めてしまう▽といったことで、大切な資産を減らしてしまう場合があります。

しかし反面、貯蓄だけでも今後は心配です。日銀が発表している2%の経済成長をした場合、1000万円の預金は、10年後には実質的な価値は820万円に、20年後には673万円になってしまいます。

先々の資産をどのように守るか考えることはとても大切です。まずは身近なFPなどに相談することをお勧めします。



投資する際の注意点

- ①「高利回り」「毎月分配」だけで判断しない。
- ②銀行員、証券会社の言うままに契約しない。
- ③「好景気」「景気回復」にのって安易に始めない。

2013年12月現在の税制・税率に基づき作成しています。税制・税率は将来変更される可能性がありますので、「注意」を必ずご確認ください。個別の税務に関する取り扱いについては、税理士または所轄の税務署にご相談ください。

協力 募集代理店 ㈱ファミリアライフクラモチ 大森 健一さん

大森健一さんプロフィール 独立系FP事務所 ㈱ファミリアライフクラモチ所属

AFP・住宅ローンアドバイザー資格者 資格を活用しセミナー講師・個別相談等を実施

(募集代理店) ㈱ファミリアライフクラモチ 土浦市永国9-9-1 ☎0120-1-230065